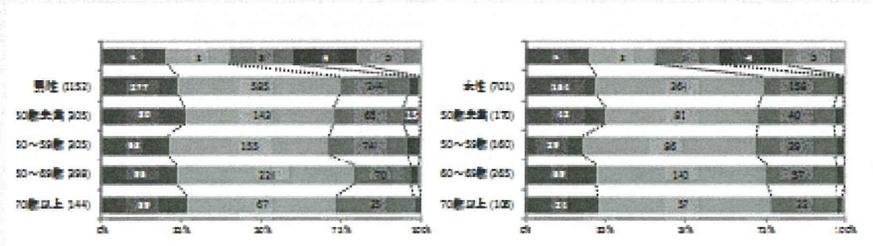


図 7(1)f-2 核酸効果満足 (D-4) × 年齢・性別 (H-1, H-2)

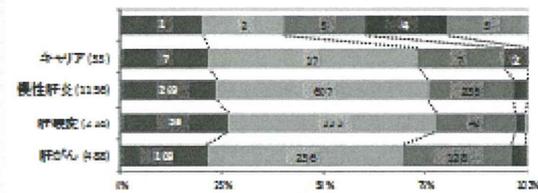


図表 7(1)f-3 核酸効果満足 (D-4) × 病態

D-4 内服の抗ウイルス剤の治療効果に、どの程度満足していますか。(単一回答)

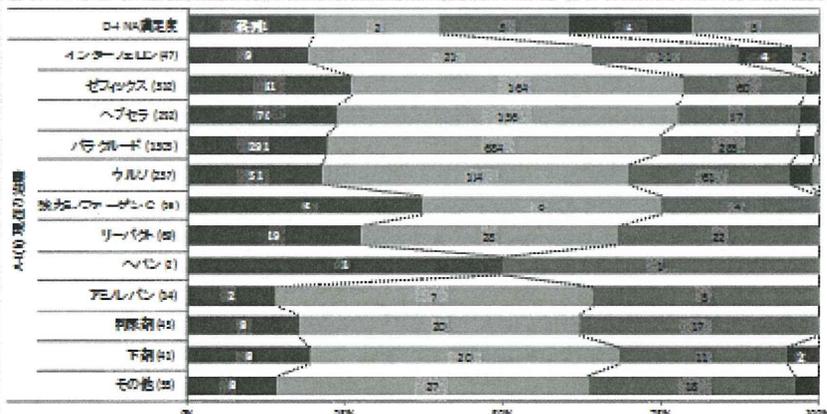
	D-4 内服の抗ウイルス剤の治療効果に、どの程度満足していますか。(単一回答)					D-4 内服の抗ウイルス剤を服用する割合		
	1 全然に満足していない	2 満足している	3 満足してはいるが4レベル	4 満足していない	5 全然に不満である	割合 (%)	人数	割合 (%)
TOTAL	437 (24.1)	271 (15.2)	412 (23.1)	64 (3.6)	10 (0.6)	1,224	23	1.9
ヘパリア	7 (1.4)	17 (3.4)	7 (1.4)	3 (0.6)	0 (0.0)	49	7	14.3
慢性肝炎	269 (22.2)	607 (50.5)	248 (20.7)	40 (3.3)	4 (0.3)	1,149	13	1.1
肝硬変	58 (2.6)	111 (5.0)	42 (1.9)	5 (0.2)	2 (0.1)	219	1	0.5
肝がん	103 (14.1)	286 (39.4)	118 (16.2)	17 (2.3)	4 (0.5)	499	9	1.8

$\chi^2=1.21$ $df=12$ $p<0.262$



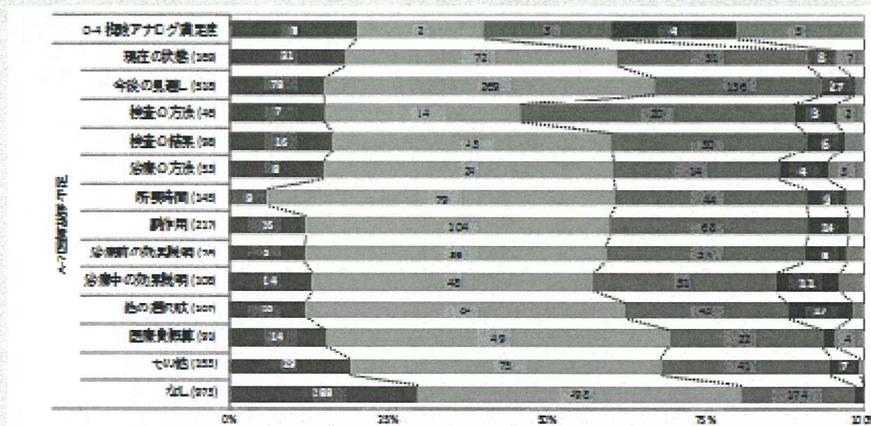
図表 7(1)f-4 核酸効果満足 (D-4) × 現在治療 (A-1(1))

	D-4 内服の抗ウイルス剤の治療効果に、どの程度満足していますか。(単一回答)					D-4 内服の抗ウイルス剤を服用する割合		
	1 全然に満足していない	2 満足している	3 満足してはいるが4レベル	4 満足していない	5 全然に不満である	割合 (%)	人数	割合 (%)
TOTAL	437 (24.1)	271 (15.2)	412 (23.1)	64 (3.6)	10 (0.6)	1,224	23	1.9
インターフェロン (27)	0	21	11	4	2	28	1	3.6
ゼフィックス (32)	0	184	80	7	1	274	2	0.7
ヘパセラ (32)	7	158	57	9	1	234	2	0.9
パチブレード (123)	21	984	280	20	1	1,296	14	1.1
カレン (23)	21	114	81	9	2	230	3	1.3
強力エプソール (4)	0	0	4	0	0	17	1	5.9
ソラシド (4)	10	20	20	0	0	50	0	0.0
ヘレン (2)	1	0	1	0	0	2	0	0.0
アズルリン (4)	2	7	5	0	0	14	0	0.0
肝臓病 (4)	0	20	17	0	0	47	1	2.1
下痢 (4)	0	20	11	2	0	33	2	6.1
その他 (2)	0	27	19	2	1	59	0	0.0



四表 7(1)⑤ 核酸効果満足(D-4)×医師説明不足(A-7)

	TOTAL	D-4 内服の抗ウイルス剤の核酸効果 二つの核酸満足していますが、(第一目録)					A-7 医師説明不足が感じている項目				
		満足している	満足していない	満足していない	満足していない	満足していない	満足していない	満足していない	満足していない		
	437 (92.4)	271 (62.0)	412 (94.3)	54 (12.4)	10 (2.3)	128	23	162	22	21	6
A-7 二れまでの治療における医師の説明のうち、どのようなことについて説明不足だと感じましたか。											
現在の状態	21 (4.8)	72 (16.5)	51 (11.7)	8 (1.8)	7 (1.6)	171	2	159	25.4	4	0.000
今後の見通し	78 (17.6)	289 (66.2)	128 (29.2)	27 (6.2)	8 (1.8)	223	2	219	28.9	4	0.000
検査の方法	7 (1.6)	14 (3.2)	20 (4.6)	2 (0.4)	1 (0.2)	46	2	44	24.9	4	0.000
検査の種類	14 (3.2)	42 (9.6)	20 (4.6)	8 (1.8)	2 (0.4)	100	2	98	21.7	4	0.000
検査の方法	8 (1.8)	24 (5.5)	14 (3.2)	4 (0.9)	2 (0.4)	25	2	23	23.4	4	0.000
検査時間	9 (2.1)	72 (16.5)	44 (10.1)	9 (2.1)	4 (0.9)	148	2	146	42.3	4	0.000
副作用	28 (6.4)	104 (23.8)	88 (20.1)	14 (3.2)	2 (0.4)	220	2	218	42.3	4	0.000
検査前の効果説明	2 (0.4)	26 (5.9)	24 (5.5)	2 (0.4)	2 (0.4)	78	0	78	17.1	4	0.000
検査中の効果説明	14 (3.2)	48 (11.0)	21 (4.8)	11 (2.5)	4 (0.9)	109	1	108	42.3	4	0.000
他の薬剤	20 (4.6)	84 (19.2)	42 (9.6)	17 (3.9)	2 (0.4)	171	4	167	41.9	4	0.000
医療費負担	14 (3.2)	49 (11.2)	22 (5.0)	4 (0.9)	4 (0.9)	22	1	21	21.3	4	0.000
その他	23 (5.3)	75 (17.2)	41 (9.4)	7 (1.6)	1 (0.2)	155	2	153	40	4	0.000
なし	299 (68.6)	429 (97.8)	174 (39.8)	12 (2.8)	0 (0.0)	999	16	973	62.2	4	0.000



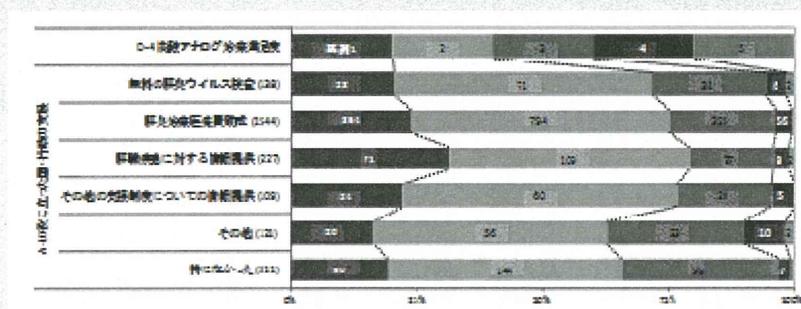
四表 7(1)⑥ 核酸効果満足(D-4)×病児支援(A-8)

	TOTAL	D-4 内服の抗ウイルス剤の核酸効果 二つの核酸満足していますが、(第一目録)					A-8 病児支援が感じている項目				
		満足している	満足していない	満足していない	満足していない	満足していない	満足していない	満足していない			
	437 (92.4)	271 (62.0)	412 (94.3)	54 (12.4)	10 (2.3)	128	23	162	22	21	6
A-8 病児支援が感じている項目											
検査時間への対応	70 (16.0)	100 (23.1)	40 (9.1)	0 (0.0)	2 (0.5)	224	19	205	42.2	4	0.000
夜間や週末の検査などの、検査時間の融通性	12 (2.8)	41 (9.3)	18 (4.1)	2 (0.4)	1 (0.2)	61	24	37	42.9	4	0.000
核酸検査に対する核酸効果	144 (32.7)	214 (49.0)	100 (22.8)	10 (2.3)	1 (0.2)	317	21	296	42.1	4	0.000
核酸検査結果が陽性の場合に対する核酸効果	204 (46.7)	274 (62.7)	120 (27.5)	20 (4.6)	4 (0.9)	324	17	307	22.6	4	0.000
核酸検査結果が陰性の場合に対する核酸効果	20 (4.6)	44 (10.1)	20 (4.6)	2 (0.4)	1 (0.2)	67	12	55	17.8	4	0.000
核酸検査センターへの対応	27 (6.2)	47 (10.7)	27 (6.2)	7 (1.6)	1 (0.2)	117	12	105	11.2	4	0.000
その他	72 (16.5)	224 (51.0)	122 (27.9)	21 (4.8)	2 (0.4)	282	20	262	27.9	4	0.000

表 7(1)⑦ 核酸効果満足(D-4)×行政支援(A-10)

	TOTAL	D-4 内服の抗ウイルス剤の核酸効果 二つの核酸満足していますが、(第一目録)					A-10 行政支援が感じている項目				
		満足している	満足していない	満足していない	満足していない	満足していない	満足していない	満足していない			
	437 (92.4)	271 (62.0)	412 (94.3)	54 (12.4)	10 (2.3)	128	23	162	22	21	6
A-10 行政支援が感じている項目											
無料の検査ウイルス検査	28 (6.4)	71 (16.2)	31 (7.1)	1 (0.2)	2 (0.4)	217	10	207	23	4	0.000
無料検査結果通知	284 (64.8)	794 (180.0)	225 (51.2)	58 (13.3)	2 (0.4)	1,172	101	1,071	12.2	4	0.000
核酸検査に対する核酸効果	71 (16.0)	109 (24.7)	27 (6.1)	1 (0.2)	2 (0.4)	226	10	216	12.2	4	0.000
その他の支援策についての核酸効果	24 (5.5)	80 (18.3)	20 (4.6)	1 (0.2)	0 (0.0)	109	14	95	21	4	0.000
その他	20 (4.6)	55 (12.6)	23 (5.3)	11 (2.5)	2 (0.4)	160	14	146	17.9	4	0.000
特になかった	80 (18.3)	144 (32.7)	98 (22.3)	7 (1.6)	2 (0.4)	322	22	300	21.7	4	0.000

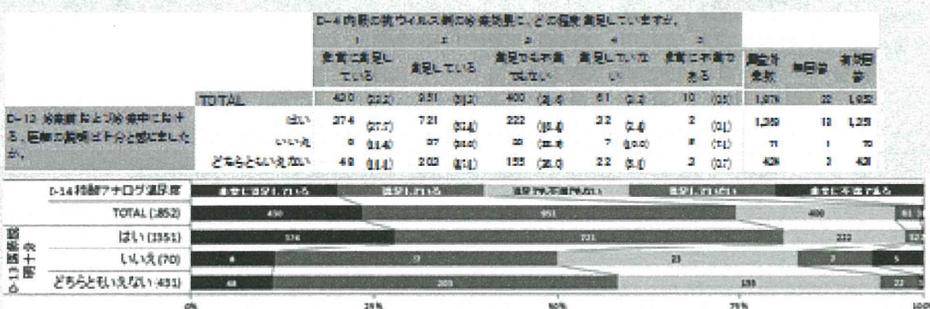
図 7(1)f-7 核酸効果満足(D-4)×行政支援(A-10)



図表 7(1)f-8 核酸効果満足(D-4)×核酸効果(D-3)



図表 7(1)f-9 核酸効果満足(D-4)×核酸医師説明(D-13)



核酸アナログ製剤治療の効果にどの程度満足しているか尋ねたところ、有効回答者の51.2%が「満足している」と回答している。次いで、「非常に満足している」が23.1%となっている(図表7(1)f-1)。性別・年齢、病態による有意差は見られず(図表7(1)f-2)(図表7(1)f-3)。現在受けている治療別には、インターフェロンも同時に受けている人は「満足していない」、「非常に不満である」が多い(図表7(1)f-4)。医師による説明不足を感じていない人は「非常に満足」が多く、1つでも説明不足を感じている人は、「満足でも不満でもない」、「満足していない」、「非常に不満である」が多い(図表7(1)f-5)。役に立った病院の支援別に見ると、特になかった人は「非常に満足である」が少なく、「満足でも不満でもない」が多い。また、役に立った病院の支援を1つでも選択している人は、「非常に満足である」が多くなる傾向が見られた(図表7(1)f-6)。役に立った国や行政の支援別に見ると、特になかった人は「満足でも不満でもない」が多かった。また、肝炎治療医療費助成および肝臓疾患に対する情報提供が役に立ったという人は、「非常に満足である」が多かった(図表7(1)f-7)。また、医師から説明されている核酸アナログの治療効果別に見ると、ウイルス量が測定できない程低下したおよび肝機能が正常化したと説明されている人は「非常に満足である」が多く、肝機能が改善したと説明されている人は「満足である」が多い。治

療前と変化なし、肝機能が増悪した、覚えていない／わからない人は、「満足でも不満でもない」、「満足していない」、「非常に不満である」が多くなる(図表7(1)f-8)。また、医師による説明を十分と感じている人は、「非常に満足している」、「満足している」が多い(図表7(1)f-9)。

g. 副作用

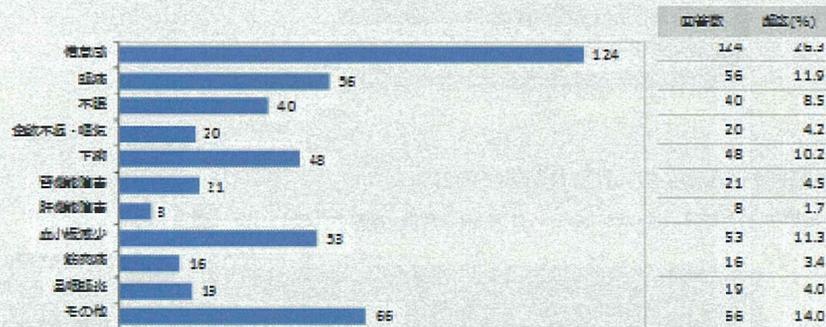
図表7(1)g-1 核酸副作用(複)(D-5)

D-5 内服の抗ウイルス剤の副作用には、どのようなものがありましたか。(複数回答) 【回答割合】924 (有効回答数1,870, 無回答54)
有効回答率97.2%



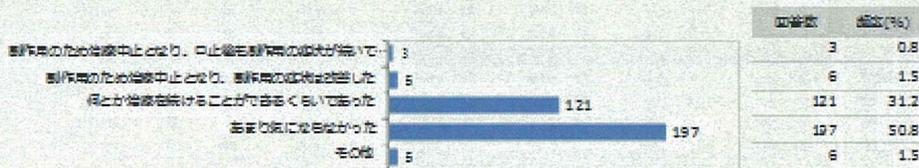
図表7(1)g-2 核酸副作用(単)(D-6)

D-6 もっともつらかった副作用はどれでしたか。(単一回答) 【回答割合】36 (有効回答数1,870, 無回答54)
有効回答率97.9%



図表7(1)g-3 核酸副作用程度(C-7)

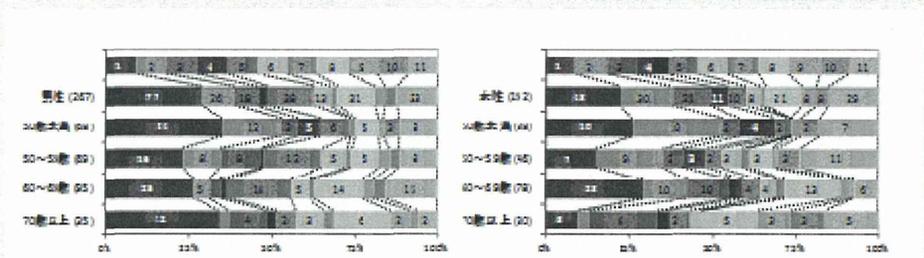
D-7 前問(D-6)で選択したもっともつらかった副作用の程度を一つ選んでください。(単一回答) 【回答割合】471 (有効回答数1,870, 無回答54)
有効回答率92.4%



図表 7(1)3-4 核酸副作用(単)(D-6)×年齢・性別(H-2)

Q-6 上記の1-11の4名、5名とつらかった副作用を1つ選んだか。(単一回答)

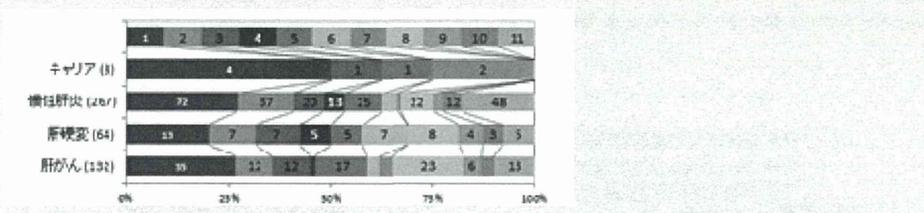
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	合計	割合	割合	割合	
TOTAL	42	104	18	27	21	46	18	42	21	44	8	378	100%	27%	20%	15%
男性	17	22	18	27	18	27	18	42	21	27	12	210	100%	8%	10%	12%
50歳未満	24	22	12	27	4	24	8	27	8	24	4	154	100%	15%	15%	15%
50-59歳	18	22	8	27	8	24	12	27	8	24	8	144	100%	12%	15%	15%
60-69歳	30	22	4	24	2	24	18	27	8	24	16	180	100%	16%	12%	12%
70歳以上	12	24	0	24	4	24	2	27	8	24	8	126	100%	9%	18%	15%
女性	25	82	18	27	24	24	18	27	18	27	16	268	100%	9%	30%	15%
50歳未満	15	22	18	27	2	24	2	27	8	24	16	154	100%	10%	15%	15%
50-59歳	11	22	8	27	8	24	8	27	8	24	16	144	100%	8%	15%	15%
60-69歳	27	22	18	27	18	24	18	27	18	24	16	210	100%	12%	12%	12%
70歳以上	4	24	0	24	8	24	2	27	8	24	8	126	100%	3%	18%	15%



図表 7(1)3-5 核酸副作用(単)(D-6)×病態

Q-6 上記の1-11の4名、5名とつらかった副作用を1つ選んだか。(単一回答)

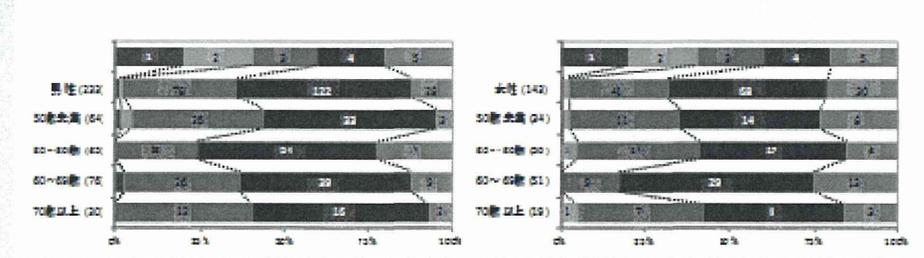
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	合計	割合	割合	割合
TOTAL	104	104	41	22	21	42	4	27	18	24	18	378	100%	27%	20%
ケニアア	4	22	8	22	2	24	1	27	8	24	8	126	100%	3%	18%
慢性肝炎	12	22	21	22	12	24	8	27	12	24	16	210	100%	6%	12%
肝硬変	18	22	7	22	5	24	7	27	8	24	16	180	100%	10%	12%
肝がん	20	22	0	24	12	24	4	27	8	24	16	210	100%	9%	12%



図表 7(1)3-6 核酸副作用程度(C-7)×年齢・性別(H-2)

Q-7 前問(Q-6)で選択したもっともつらかった副作用の程度を一つ選んでください。(単一回答)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	合計	割合	割合	割合	
TOTAL	3	6	119	120	58	439	62	378								
男性	2	2	78	122	28	287	24	232								
50歳未満	1	2	25	33	3	64	4	64								
50-59歳	0	0	15	34	14	63	8	63								
60-69歳	3	0	26	30	0	63	10	78								
70歳以上	0	0	12	16	2	33	5	30								
女性	0	4	41	88	30	122	42	142								
50歳未満	0	1	11	14	8	34	4	34								
50-59歳	0	2	14	17	6	40	7	39								
60-69歳	0	0	9	29	13	51	27	51								
70歳以上	0	1	7	8	3	19	11	19								

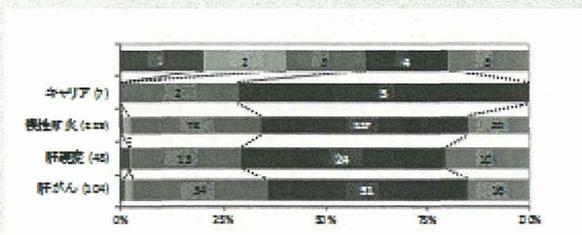


図表 7(1)g-1 核酸副作用程度(0-7)×病種

0-7 前問(0-6)で選択したもっともつらかった副作用の程度を一つ選んでください。(単一回答)

	1	2	3	4	5	上記内容に該当する割合		
	副作用のため治療中止となり、中止後副作用の症状が残っている	副作用のため治療中止となり、副作用の症状は改善した	何とか治療を続けることができるくらいであった	あまり気にならなかった	その他	倦怠感	血小板減少	その他
TOTAL	3 (3.4%)	5 (5.4%)	12 (13.1%)	127 (138.4%)	51 (55.1%)	41	6	10%
キャリア	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (2.0%)	5 (5.0%)	0 (0.0%)	1	1	7
慢性肝炎	1 (0.4%)	1 (0.7%)	7 (2.6%)	11.7 (4.4%)	25 (9.4%)	2	2	7.7%
肝硬変	1 (2.1%)	0 (0.0%)	13 (27.1%)	24 (48.0%)	10 (20.0%)	5	10	48
肝がん	1 (1.0%)	1 (1.0%)	14 (22.7%)	51 (82.0%)	16 (25.4%)	12	2	1.0%

$\chi^2=5.5, df=12, p=0.241$



核酸アナログ製剤の副作用について尋ねたところ、有効回答者の 11.0%が「倦怠感」と回答している。次いで、「血小板減少」が 7.1%となっている。また、71.2%は「副作用なし」と回答している(図表 7(1)g-1)。核酸アナログ製剤治療の副作用のうち、もっともつらかった副作用について尋ねたところ、有効回答者の 26.3%が「倦怠感」と回答している。次いで、「頭痛」が 11.9%となっている。また、14.0%は「その他」と回答している。「その他」に偏ったコメントはなかった(図表 7(1)g-2)。性別で見ると、「下痢」は男性の方が多かった。年齢別には、男性は有意差が見られなかったが、女性は「頭痛」が 50 歳未満に多い(図表 7(1)g-4)。

核酸アナログ製剤治療が終了した方へ、最もつらかった副作用の程度について尋ねたところ、有効回答者の 50.8%が「あまり気にならなかった」と回答している。次いで、「何とか治療を続けることができるくらいであった」が 31.2%となっている(図表 7(1)g-3)。性別・年齢別には有意差が見られなかった(図表 7(1)g-5)。

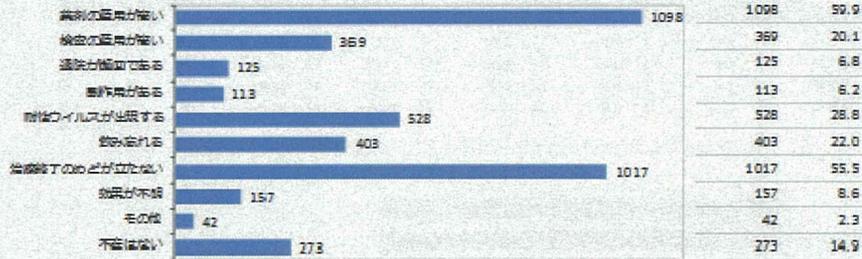
h. 治療不安

図表 7(1)h-1 核変不安(D-8)

D-8 内服の抗ウイルス剤に対してどんな不安がありますか。
(単一/複数回答)

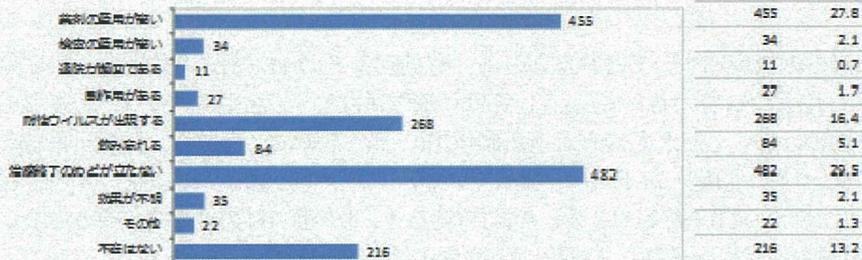
回答割合 19.24 (有効回答数1834/総回答900)
有効回答率 95.2%

あてはまるものすべて (複数回答)



回答割合 18.34 (有効回答数1634/総回答900)
有効回答率 89.1%

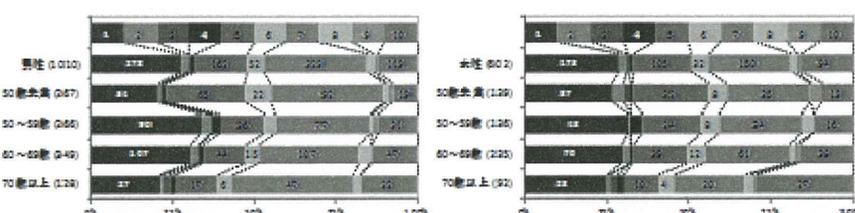
もっともよくあてはまる (単一回答)



図表 7(1)h-2 核変不安(単)(D-8b)×年齢・性別(H-1,H-2)

D-8 内服の抗ウイルス剤に対してどんな不安がありますか、もっともよくあてはまるものを選んでください。(単一回答)

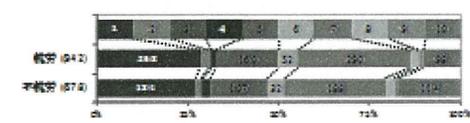
年齢	不安の理由									
	1 効果が不明	2 検査の不安が強い	3 薬味が嫌いである	4 副作用がある	5 副反応ウイルスが出現する	6 飲み合われる	7 治療終了のめどが立たない	8 効果が不明	9 その他	10 不安はない
男性	27	27	1	1	1	1	1	1	1	1
20~29歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
30~39歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
40~49歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
50~59歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
60~69歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
70歳以上	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
女性	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
20~29歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
30~39歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
40~49歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
50~59歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
60~69歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
70歳以上	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1



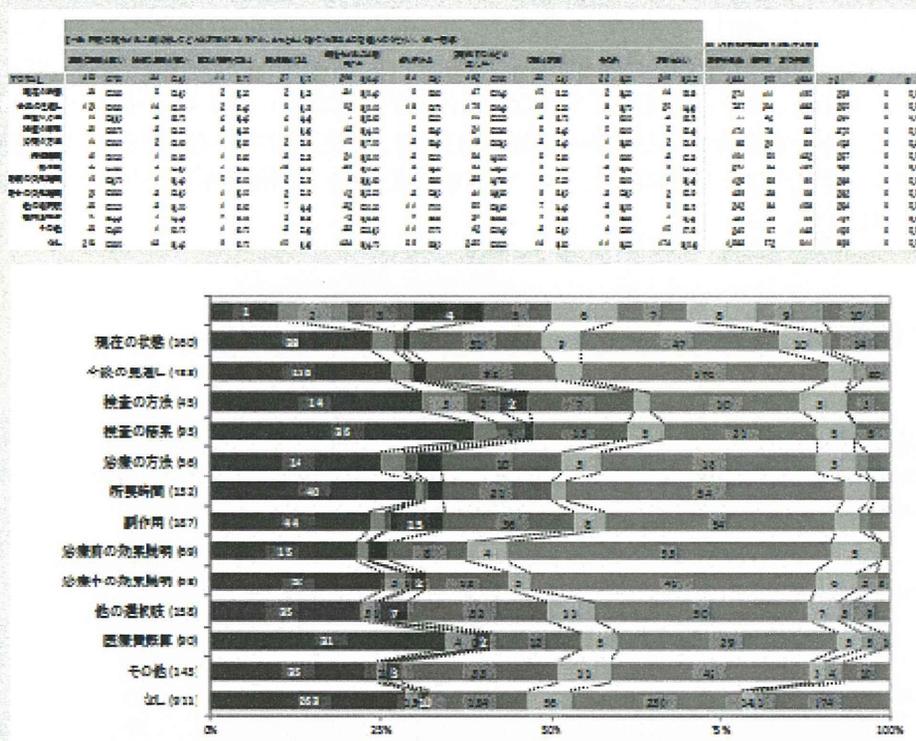
図表 7(1)h-3 核変不安(単)(D-8b)×就労(H-4)

D-8 内服の抗ウイルス剤に対してどんな不安がありますか、もっともよくあてはまるものを選んでください。(単一回答)

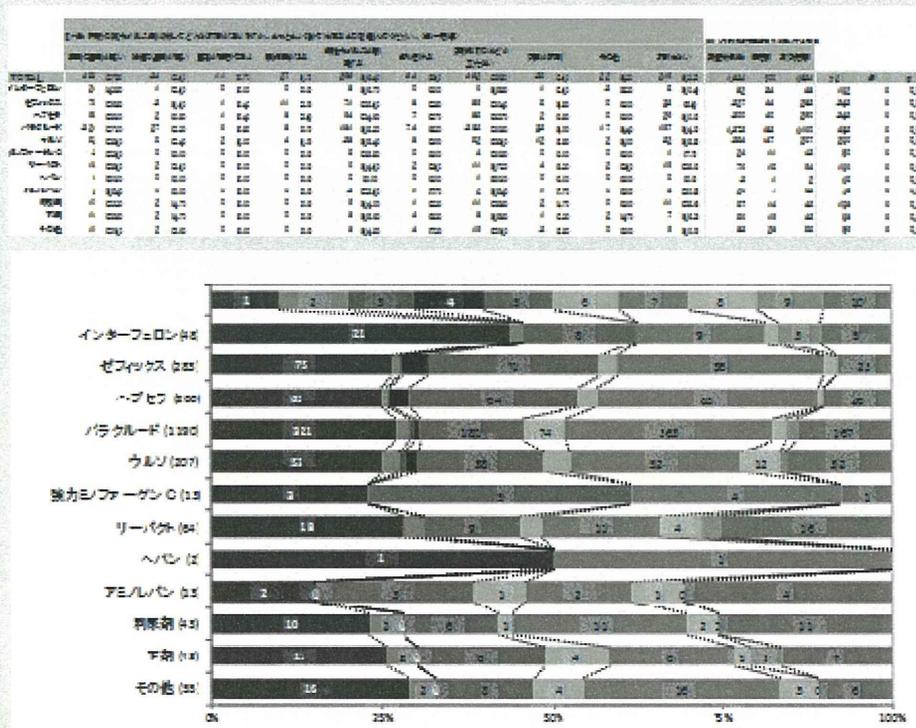
就労状況	不安の理由									
	1 効果が不明	2 検査の不安が強い	3 薬味が嫌いである	4 副作用がある	5 副反応ウイルスが出現する	6 飲み合われる	7 治療終了のめどが立たない	8 効果が不明	9 その他	10 不安はない
就労	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
不就労	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1



図表 7(1)b-4 核酸不安(単(D-8b)×医師説明不足(A-7)



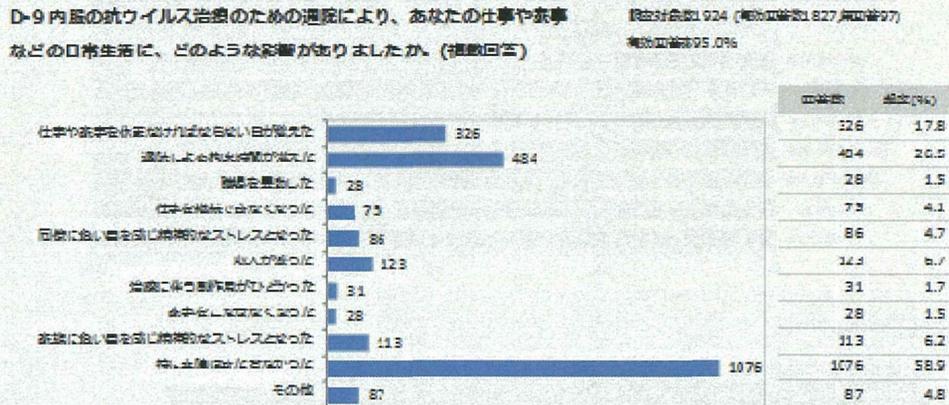
図表 7(1)b-5 核酸不安(単(D-0b)



核酸アナログ製剤治療中に感じた不安について尋ねたところ、複数回答は59.9%が「薬剤の費用が高い」、次いで、「治療終了のめどが立たない」が55.5%となっている。単一回答は、有効回答者の29.5%が「治療終了のめどが立たない」次いで、「薬剤の費用が高い」が27.8%となっている(図表7(1)i-1)。性別による有意差は見られず。年齢別に見ると、男女ともに「耐性ウイルスが出現する」が50歳未満に多く、「不安はない」が高齢になるほど増加する傾向が見られる(図表7(1)i-2)。就労/不就労で見ると、「不安はない」は不就労が多い(図表7(1)i-3)。医師による説明不足で見ると、説明不足を感じていない人は「不安はない」が多く、何か1つでも説明不足を感じている人は、何かしらの不安を持つことが多い(図表7(1)i-4)。現在受けている治療別では、「耐性ウイルスが出現する」はラミブジン、アデフォビルに多く、エンテカビルは少ない。「治療終了のめどが立たない」はエンテカビルに多い(図表7(1)i-5)。

i. 日常生活への影響

図表 7(1)i-1 核酸生活影響(D-9)



図表 7(1)i-2 核酸生活影響(D-9)×年齢・性別(H-1,H-2)

D-9 内服の抗ウイルス治療のための通院により、あなたの仕事や家事などの日常生活に、どのような影響がありましたか。(複数回答)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	その他	回答数	割合(%)
	仕事や家事を休まなければならない日が増えた	通院による待ち時間が長くなった	薬料を要した	仕事を続けられなくなった	同様に強い痛みを感じ精神的なストレスとなった	収入が減った	治療に伴う副作用がひどくなった	余計な支出が増えた	家族に強い痛みを感じ精神的なストレスとなった	特に支障はなかった	その他	その他		
TOTAL	326	476	27	73	86	123	119	30	27	12	108	94	1062	58.3
性別														
男性	222	213	22	31	20	40	40	9	11	12	62	49	1107	57.6
50歳未満	94	98	9	12	25	21	7	2	11	129	15	208	17.4	
50~59歳	79	100	10	9	18	27	4	0	9	149	9	207	11.4	
60~69歳	59	93	5	18	11	25	8	2	10	242	15	457	24.6	
70歳以上	2	22	0	4	1	2	1	0	2	108	7	117	6.4	
女性	104	163	4	42	20	24	10	22	11	410	40	715	38.9	
50歳未満	38	53	1	4	11	12	3	9	12	98	8	172	9.4	
50~59歳	22	39	3	6	9	9	3	7	19	99	9	157	8.6	
60~69歳	22	58	0	9	9	10	2	4	17	184	18	272	14.9	
70歳以上	8	13	0	4	2	2	2	4	2	72	10	98	5.3	
χ ²	17.9	2.1	8.1	1.9	0.2	4.4	0.2	28.5	14.5	2.1	2.1			
p	<0.001	0.030	0.016	0.161	0.657	0.028	0.929	1.000	0.000	0.144	0.019			
χ ²	0.1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
p	0.001	0.001	0.016	0.095	0.001	0.029	0.908	1.451	0.021	0.000	0.521			
χ ²	2.21	13.3	8.9	0.9	2.5	5.4	1.4	4.2	7.6	15.0	5.0			
p	0.001	0.018	0.079	0.337	0.294	0.147	0.711	1.229	0.059	0.002	0.149			

図表 7(1)i-3 核酸生活影響(D-9)×病態

Q-9 内服の抗ウイルス治療のための通院により、あなたの仕事や家事などの日常生活に、どのような影響がありましたか。(複数回答)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	n (%)			
	仕事や家事を休まなければならぬ日が増えた	特に支障はきたさなかった	仕事を継続し、家事を休まなければならぬ日が増えた	仕事を継続し、収入が減った	その他	男性	女性	年齢等							
TOTAL	228 (22.1)	494 (48.4)	29 (2.8)	73 (7.1)	95 (9.2)	122 (11.9)	31 (3.0)	29 (2.8)	112 (10.9)	1078 (104.6)	67 (6.5)	1,274	37	1,237	
性別別	3 (0.3)	11 (1.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.1)	0 (0.0)	1 (0.1)	0 (0.0)	19 (1.8)	1 (0.1)	40	6	34	
男性別	212 (20.5)	217 (21.2)	12 (1.2)	28 (2.7)	52 (5.0)	82 (7.9)	14 (1.3)	14 (1.3)	62 (6.0)	654 (63.4)	47 (4.5)	1,238	31	1,207	
職業別	27 (2.6)	49 (4.8)	9 (0.9)	14 (1.4)	9 (0.9)	14 (1.4)	3 (0.3)	7 (0.7)	17 (1.7)	123 (12.0)	15 (1.5)	219	8	211	
職がん	82 (7.9)	114 (11.1)	9 (0.9)	23 (2.2)	23 (2.2)	48 (4.6)	12 (1.2)	8 (0.8)	24 (2.3)	279 (27.1)	24 (2.3)	480	23	457	
χ^2	4.8	7.4	2.4	27.5	2.1	10.4	4.8	2.9	2.2	0.2	2.7				
df	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2				
p	0.192	0.062	0.292	0.001	0.151	0.012	0.284	0.231	0.139	0.953	0.292				
	n.s.	n.s.	<0.05	<0.05	n.s.	<0.05	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.				

図表 7(1)i-4 核酸生活影響(D-9)×就労(H-4)

Q-9 内服の抗ウイルス治療のための通院により、あなたの仕事や家事などの日常生活に、どのような影響がありましたか。(複数回答)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	n (%)			
	仕事や家事を休まなければならぬ日が増えた	特に支障はきたさなかった	仕事を継続し、家事を休まなければならぬ日が増えた	仕事を継続し、収入が減った	その他	男性	女性	年齢等							
TOTAL	223 (22.0)	479 (46.9)	27 (2.6)	74 (7.2)	92 (9.0)	121 (11.8)	20 (2.0)	27 (2.6)	112 (10.9)	1064 (103.4)	95 (9.2)	1,238	35	1,203	
職労	223 (22.0)	229 (22.5)	19 (1.9)	24 (2.3)	54 (5.2)	73 (7.1)	10 (1.0)	7 (0.7)	34 (3.3)	593 (57.9)	29 (2.8)	1,238	25	1,213	
不職労	62 (6.0)	151 (14.7)	9 (0.9)	50 (4.8)	21 (2.0)	48 (4.6)	17 (1.6)	20 (2.0)	59 (5.7)	498 (48.5)	47 (4.5)	120	10	110	
χ^2	79.2	24.2	0.7	22.4	0.8	0.1	2.1	1.2	2.7	2.1	6.9				
df	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
p	0.000	0.000	0.410	0.000	0.377	0.745	0.090	0.000	0.017	0.090	0.009				
	<0.05	<0.05	n.s.	<0.05	n.s.	n.s.	n.s.	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05				

核酸アナログ製剤治療による日常生活への影響について尋ねたところ、有効回答者の26.5%が「通院による拘束時間が増えた」と回答している。次いで、「仕事や家事を休まなければならない日が増えた」が17.8%となっている。また、「特に支障はきたさなかった」と回答している方は58.9%いる(図表 7(1)i-1)。男女別には、「仕事や家事を休まなければならない日が増えた」、「職場を異動した」、「収入が減った」は男性が多く、「家事をこなせなくなった」、「家族に負い目を感じ精神的なストレスとなった」は女性が多かった。年齢別には、男女ともに「仕事や家事を休まなければならない日が増えた」は若年ほど多い傾向が見られる。「特に支障はきたさなかった」は、高齢ほど多くなる(図表 7(1)i-2)。病態別に見ると、「仕事を継続できなくなった」および「収入が減った」が、病態の進行とともに増加する。「職場を異動した」は、肝硬変に多い(図表 7(1)i-3)。就労/不就労では、「仕事や家事を休まなければならない日が増えた」、「通院による拘束時間が増えた」は就労が、「仕事を継続できなくなった」、「家事をこなせなくなった」、「家族に負い目を感じ精神的なストレスとなった」、「特に支障はきたさなかった」は不就労が多かった(図表 7(1)i-4)。